

小さな町で出会った大きな学び

ホキティカでの暮らしは、ホストファミリーやクラスメイトに恵まれた自分にとって、とても有意義であり、一瞬で過ぎ去ってしまうものでした。

私は、事前学習の時は楽しみが強く、不安はあまりありませんでした。ですが、出発の日になるとやはり心の片隅にはホストファミリーやクラスメイトと仲良くできるのか、英語がしっかりと伝わるか、といった不安もこみ上げてきました。

しかし、ホストファミリーは出会った一日目から、私を笑顔で出迎え、おいしいご飯も振舞い、長いフライトで疲れた体を癒してくれました。家に行く最中、車の中で話したときに英語はあまり得意ではないと伝えると、ゆっくりと話してくれて不安感もかなり解けました。

さっそくその日は、ホストファミリーでありバディであるLincolnの所属しているバスケットボールチームの練習試合があり、試合にまで出さしてもらうことができました。一日目からバスケットボールを通じてウエストランドハイスクールの生徒たちと仲良くなることができました。ですが、やはり現地の英語はとても速く部分的に聞き取れなかったり、「What?」と聞き返されてしまうこともあり、少し自信を失いました。

二日目以降の学校生活は、バスケットで仲良くなった友達やバディの友達も「What's up!」と話しかけてくれました。自己紹介やNBAについて話し

合うことができ、たくさんの人と関われ、これからの学校生活に自信を持つことができました。

校外学習では、毎日のように自然と関わる体験ができ、江戸川区で過ごす普段の生活とは異なる新鮮な体験で気分もすっきりしました。

日曜日は、ホストファミリーと丸一日を過ごし、仲が一気に深まりました。マウンテンバイクでホキティカ空港の周りを一緒にサイクリングして楽しみ、緑豊かな森でたくさんの自然と関わりました。とても気分が晴れ、自分の中の大きな思い出になりました。

後半になると、だんだんと自分から話し始めることに自信を持つことができました。ホストファミリーに「〇〇をしてみたい」と積極的に伝えることができ、相手も何をするか提案してくれました。とても心強く、自分のコミュニケーション能力も伸ばすことができ、とても有意義な生活ができました。この派遣を支えてくださった方々に感謝を忘れず、得た経験を「多国籍の人々と関わる」という自分の夢に向けてこれから活かしていきたいです。

